

令和4年度 第2回 都島区区政会議教育・子育て部会 会議録

1 日時 令和5年2月24日（金）午後7時～午後7時45分

2 場所 都島区役所 3階会議室

3 出席者

（区政会議委員）

池田委員・江川委員・谷委員・中山委員・前田委員

（都島区役所）

大畑区長・土居副区長・清原こども教育担当課長・坂下健康推進担当課長・吉田保健福祉課こども教育担当課長代理

4 議題

子どもの居場所づくり

5 会議次第

(1) 開会（大畑区長挨拶）

(2) 議事

【吉田課長代理】

本日はお忙しい中、委員の皆様におかれましてはご出席賜り、誠にありがとうございます。

これより令和4年度都島区区政会議第2回教育・子育て部会を始めさせていただきます。

私は、本日司会を務めさせていただきます都島区役所保健福祉課こども教育担当課長代理の吉田でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、初めに、区長の大畑からご挨拶申し上げます。

【大畑区長】

どうも、改めましてこんばんは。区長の大畑でございます。

3月の年度末に向けて、少し区役所もばたばたしてきたかなというような感じですが。政府

のほうからも、コロナに対しての大きな指針が出始めてきて、もう皆さんご存知のように、2類からインフルエンザと同じ5類相当に変更を5月にしていくことになりました。それから、マスクに関しても3月13日の週から任意という形で、教育委員会のほうも卒業式にはこういうマスクのルールでいきましょうということで、急遽マスクのルールも変更となり、いろいろばたばたとし始めてきた今日この頃です。

そんな中、この教育・子育て部会では、2月11日に子どもの居場所づくりのワークショップが開催されまして、私はどうしても出席できなかったんですが、大変盛況だったというふうにお聞きしております。この都島区の中でも、これから子ども食堂や居場所をやってみたいという方がたくさんいらっしゃるんだなということを改めて感じました。

江川議長を中心に、これから都島の中でこの子どもの居場所づくりというのをますます発展させていきたいなというふうに思ってます。今日、議題もその一本に絞りまして進めていきたいと思えます。どうかよろしく願いいたします。どうもありがとうございます。

【吉田課長代理】

ここで、委員の皆様にご報告の進捗につきましてお願いがございます。

議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音、撮影させていただいております。また、本日の会議はインターネット配信を行っております。

以上、ご了承賜りますようよろしくお願いいたします。

それでは、定足数の確認をさせていただきます。

本日の会議には、委員定数9名のうち5名が出席されておりますので、定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

それでは、続きまして、資料の確認をさせていただきます。

本日の座席表が1枚、次第が1枚、資料1「こどもの居場所づくり」ワークショップ開催報告が1枚、参考といたしまして、小学生サポート事業実施状況が1枚、参考といたしまして、「子どもの居場所」ネットワーク化（イメージ）が1枚。

以上の5枚となりますが、そろっておりますでしょうか。お持ちでない方はお配りいたしますので、挙手をお願いいたします。

それでは、本日ご出席の委員の皆様をご紹介させていただきます。

中野まちづくり協議会、中山奈美様。

友渕地域活動協議会、池田聖志様。

議長で一般公募の江川和宏様。

淀川地域活動協議会、谷清美様。

無作為抽出公募の前田久美子様。

なお、伊藤委員、平野委員、彦坂委員、鷹取委員につきましては本日ご欠席されております。

また、都島区選挙区選出の大阪府議会、大阪市会の各議員については本日ご欠席されております。

それでは、これより議事進行につきましては、江川議長にお願いいたします。

【江川議長】

皆さん、こんばんは。

今日は何か人も少ない感じで、議題も1つなので、あと報告事項が多いので、その後にフリートークみたいな形になると思うんですけど、せっかくの機会なので、子ども関係のことを区役所の方にいろいろ聞いてもらう場になってもいいかなと思ってます。

それでは、議題の説明のほうをお願いします。

【清原課長】

こども教育担当課長の清原です。すみません、着座にて説明させていただきます。

前回の部会でも、子どもの居場所づくりということでいろいろご議論いただいて、その中でも説明させていただいたかなと思うんですけども、区民の方々に実施していただきたい思いがありまして、機運を醸成していかなければいけないなというところで、ワークショップの開催をさせていただきました。2月11日土曜日、祝日ということで、役所の行事にしては珍しくというところなんですけども、我々もちょっと頑張って休日にやらせてもらいまして、おかげをもちまして参加者、40の方が参加いただいて、非常に盛会だったというふうに思っております。

第1部では、運営等に対する講演会ということで、今日も議長をやっていただいています江川委員、それからもう一人、西成区で活動される横田弘美さんといって、こどもの居場所サポートおおさかというところの代表理事をされている方のお二人にご講演をいただきました。

江川さんからは、地域における活動状況、それから、横田さんからは、大阪市全体の状況でありますとか、それから食料を調達するにあたってのご苦労でありますとか、あるいは、この手の事業は足というんですか、物を運ぶための足、輸送をどういうふうに確保するのかというのも非常に難しいところがあるんですけども、タクシー会社さんだったり、

運送会社さんだっなどの支援を得ているというようなことでお話をいただきました。

2部につきましては、グループワークということで6つのグループに分かれていただきまして、それぞれ意見を出していただいて、子ども食堂実施に向けてどんなことが足りないのか、どんなことがあるのかといったことの見を出していただきました。その意見交換の中で、各グループの主な意見として、その横に幾つか記載させていただいています。

いつでも安心して、子どもたちがゆっくりできる居場所があればいいなという意見でありますとか、子ども食堂を開設するにあたり、スタートアップの支援、助成があればいいなとか、こういったことに関しては会が終わった後に、どこそこのこんなものを使えるでとか、こんな仕組みもあるでみたいな意見交換が非公式の場でありまして、会としてプラスアルファがあったのかなというふうに感じているところです。

それから、ちょっとこれは地域の方々のご意見を伺わなければいけないんですけれども、地域主催の高齢者食事サービスを子ども食堂に広げられないかといった提案でありますとか、それから今、広く知られているとは限らないというところで、参加しやすいイメージづくり、以前のこの部会でも、トレードマークというか何か旗みたいなものを作ったらどうかというご意見をいただきましたけれども、それと近いようなご意見でありますとか、元教員の方などの協力を得て、寺子屋のような場所ができればいいというような意見もいただきました。確かに、子どもたちに何かものを教えるというのは、なかなか専門的な部分があって難しい部分がありますので、元教員の方などのお力を得られれば大変ありがたいかなというふうに思うところです。

それから、ここではひきこもりというふうに代表して書かせていただいていますけれども、例えば外国人の方、日本に来日したばかりのお子さん、あるいはなかなか日本になじめていないような外国人の方、そういった支援の声が届きにくい方々の支援も考えていく必要があるのではないかとこのところ、重要な示唆をいただいたかなというふうに思っています。

参加者アンケートにつきましても、非常に好評だったかなというところで、子ども食堂に対する理解、子ども食堂というどうしても貧困対策というイメージが強いんですけれども、そうじゃなくて体験の場であったりとか、例えばやっぱり孤食というんですか、ひとりぼっちで食べるのではなくて、みんなで楽しく食べるという経験の場としても有用であって、必ずしも貧困対策にこだわる必要はないんだということで理解が深まったというようなことです。それから、参加者アンケートの設問「子どもの居場所づくりに参加して

みたいと思いましたか」についても、肯定的な回答をいただきまして、(ボランティア募集の情報提供について)もしご了解がいただければ連絡先を書きただけですかということ(アンケート様式に)書かせていただいていたんですけども、何人かの方からそういう連絡先もいただいているところです。

子どもの居場所づくりのワークショップに関しましては、今年度こういう形で開催させてもらったんですけども、来年度以降に限らず、これからの在り方につきまして、区役所としても何かお手伝いのできたらなというふうに考えております。引き続き皆様のご支援等いただければと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、当日の様子につきましては、J:COMさんの取材も入りまして報道番組のコーナーにまとめられて放映されています。多分、今日だったら間に合うんでしょうか。J:COMさんのアプリから見ることはできると思ひます。もしお時間ありましたらご覧いただけたらと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

ワークショップの開催報告に関しましては、以上のような状況です。よろしくお願ひいたします。

【江川議長】

ありがとうございます。

一応、僕も話したので内容を言わせてもらったら、皆さん、子どものことを考えている人が多くて話が盛り上がり、結構いろんな方向にいったというか、子ども食堂というのはやっぱり答えもないので、ああしたい、こうしたいでいろんなことを求め過ぎるんですけど、取りあえず何か始めてみて、そこから足りない部分を足していくような形が理想かなという話をした中で、先ほどもちょっと出たんですけど、やっぱり地域の力でやっていくのがいいのではないかとこのを結構いろんな方が言うてたので、そういうことが町会ごとにでもできたら本当はいいのかなという、校区を越えられないような子どもたちのためにはという話が出てました。

これに関して何かご意見、ご感想ある方いらっしゃいますか。とりあえず中山委員から一言ずつ何かいただけたら。

【中山委員】

この各グループの主な意見で、地域主催の高齢者食事サービスを子ども食堂に広げられないかという意見があったと思うんですけど、広げていくとなると、子どもにも高齢者食事サービスと同じようなことをするということですかね。

【清原課長】

ちょっと書いてる文面が短いので、そこは正確にはちょっと酌み取れない部分もあるんですけども、例えば、世代間交流というところで、土日にやってるところがあるかどうか分からないんですけども、お子さんにも参加していただいて、世代間交流に結びつけたいのかなというようなニュアンスでお書きになってたかなというふうに思います。

【中山委員】

ありがとうございます。

【江川議長】

これちょっとブレインストーミングみたいな感じで、予算関係なく、できるかどうかじゃなくて意見を出し合うというものなので、本当にやるとしたら、そんな広さもあるでとかいろんなことがあると思うんですけど、そういうところで集まることができるんやったら、町会レベルでもできるのではないかという話の一つです。

そしたら、池田委員、よろしくをお願いします。

【池田委員】

居場所ということに関しては、各町会では地域活動協議会の一環として、子どもさんを持っておられる学校のPTAの方との関係で、いろんな催物をやってるんです。例えば、夏になれば潮干狩りとか、それから最近ではお餅つきとか。それはあくまでやっぱり、PTAで活動する親御さんのちゃんとしておられる家庭を対象ということになっていて、町会員でなかったら参加できないというようなことになっています。資料を見てますと、やっぱり町会員関係なしですね。だから、町会に入っておられない一人で孤独に家におられるという子どもさんを対象にしていこうと思ったら、町会というのは関係なしに、地域活動協議会も関係なしに、それから、PTAの皆さん関係なしに、静かに立て籠ってる子どもさんを対象にやっていかなければならないのだから、もっともっと掘り下げて子どもを集めていかなければならないと思います。

それともう一つ、私は高齢者の食事サービスを世話してる一員でして、第1土曜日と第3土曜日の10時半頃から12時までやってるんです。これはあくまで我々の友渚地域は、福祉会館に来ていただいて弁当のようなものを提供するということですけども、子どもさん対象となれば、弁当よりも、やっぱりその場で熱いものを食べてもらうということになりますね。それも町会関係なしに。だから、やっぱり町会に入っておられるか入ってないかで格差が出るというか、関係なしにこれからずっとやっていかなければいけないということ

で、これから先どういうふうな形でやっていくかなとちょっと疑問に感じる面もあるんですけども、そういった積極的にどういうふうにするかということも、またこれから意見交換し合って、皆さんの意見を聞きたいなと思います。

以上です。

【江川議長】

ありがとうございます。

たしかに町会への加入、そうですね。お金のスキームの話とかになってきますものね。

【池田委員】

そうですね、はい。

【江川議長】

谷委員、お願いします。

【谷委員】

ワークショップに参加できなかったのは申し訳ない、すみませんでした。

主な意見で、子どもの居場所があればというのは全部が共通していることだと思うんですけども、食事とかそういうところから入っていくのが一番早いのかなとも思いますが、やっぱり地域ごとに開催されてる日も時間帯も違うので、子どもに合わせると土日になってしまうし、高齢者に合わせると昼間の平日の時間帯とかになったりしますので、そういうところもしそこで実施するならば調整していかなきゃいけないのかなというのと、あとはふれあい喫茶というのも地域にあると思うんですけど、そういうところからでもいいのかなというのがあります。この高齢者食事サービスもふれあい喫茶も結構ご高齢の方が動いて、全部やってくださっているんですよ。若い方を入れたいんですけど、募集してもやっぱり若い方は、仕事しているからといってなかなか参加していただけないので、親御さんたちが自分たちも高齢者のサービスのお手伝いとか、ふれあい喫茶のお手伝いしたいという方も増やしていかなくちゃ、やっぱり子どもまで目がいかないのかなというのが今感じてることです。

以上です。

【江川議長】

ありがとうございます。

前田委員、お願いします。

【前田委員】

お願いします。

お知らせいただいていたのにワークショップに参加できなくて、申し訳なかったです。40名の方が参加されたということで、盛況だったということで、子どものことを皆さん考えていただけてすごくいい活動だなと思いました。

実際、私自身も子ども食堂に行ったことがないので、ちょっと不思議というか疑問だったのが、ここに来られる方はどういうふうにして、何かどこからか紹介されて来られているのでしょうか。そこがちょっと疑問に思いました。教えていただけるとうれしいです。

【江川議長】

ありがとうございます。

ここに来られてるというのは、このワークショップですか。

【前田委員】

子ども食堂を利用されている方です。子どもさんだけでは来られないですよ。

【江川議長】

一応うちのカレー食堂の場合の話になってしまうんですけど、都島区は平成28年にアンケートがあったんですよ。小5、中2、年中の子どもたち全員に、髪を切りたいときに切れるかとか、病院に行きたいときに行けるかとか聞いて。そのアンケートの中で24区全部取ったときに、何が足りないかというのを、お金が足りないとか、学びが足りないとかと、あとコミュニケーションが足りないというのがあって、それが3つが重なった区が5つ先行で子ども食堂の助成金が出たんです。そのときに都島区は、コミュニケーションが足りないというのが出て、オートロックとかで結局、地域のつながりはないんですけど、親子同士はつながってるから、子ども食堂は子どもたちだけで来ることはないという感じやっ、今もそういう感じで大体もう9割以上がお母さんと一緒に来ます。お父さんも来るときもありますけど。多分地域性はすごくあると思います。

【前田委員】

ありがとうございます。

【江川議長】

そしたら、一通り資料を全部説明してから、最後にまとめてお話しするような形をお願いします。

【清原課長】

ありがとうございます。

そうしましたら、次から、参考というか、議題ということじゃないんですけども、その居場所に関連してこの都島区でやっている事業として、小学生サポート事業というのがございますので、これの説明をまずはさせていただきたいと思います。

子どもの居場所づくりに関しましては、一つは学習面という話と、それから気持ちを吐き出す第3の居場所ですね。学校も家庭も苦しかったら、じゃあどこで自分の気持ち吐き出すんだというそういう場所があるんじゃないか。もちろん、放課後の「いきいき」であるとか、あるいは放課後児童クラブみたいなものもあるんですけども、そういった大人数で寄りところにはやっぱり慣れないとかいうお子さんもいらっしゃるということで、隙間産業といったら少し語弊があるのかもしれませんが、地域の会館をお借りする形で業者さんに入ってもらって、週に1回小学生を対象に、勉強したり気持ちを吐き出したりする場として、ほうかご学習ひろばというのを開催させていただいています。

特に、小学校低学年のお子さんだと、学習習慣が定着しないであるとか、あるいはさっきも申し上げましたように、大人数だとちょっとわちゃわちゃしてうるさすぎて、落ち着いてできないんだというところで、少人数でなおかつ保護者の方が忙しくてなかなか勉強を見てあげられないというような場合に有効かなということでやらせてもらってます。そこに書いてあるのが、チラシのデータから引っ張り出してきた分なんですけれども、週1回、地域の福祉会館を借りてやらせていただいているというところになります。

今、キズキさんという塾だったり、それ以外に障がいをお持ちのお子さんを対象としたサービスを提供しているような事業者様に入らせていただいているんですけども、去年は年度末時点で59名の参加者だったんですけども、現在は64名の方が参加されています。実は、友達に誘われて一緒に来てるんだけど、保護者の方と連絡がつかなくて正規の登録できてないんだよみたいなお子さんも入れると、もうちょっとたくさんのお子さんになるんですが、去年を上回る人数のお子さんが集まっているという状況です。

一応、小学校の低学年の方も含んでの話ですので、どこまでアンケートの項目とか理解いただけてるのかなというところはあるんですけども、自分の気持ちを表に出すことができるであるとか、他人の気持ちや感情を酌み取れるようになったであるとか、分からなかったところを質問することができるようになったとか、そういう自分の感情を表現したり、相手のことをおもんばかったりすることが不得意な子どもたちも、少しでも人間関係を良好にするようなソーシャルスキルというんでしょうか、そういったことを身につけることのお手伝いができたかなということが、アンケートから読み取れます。

特に、最後の聞いてほしいお話は聞いてもらえてますかというところで、聞いてもらえてるよという答えが非常に多いのが、私ども主催者としては非常にうれしかなというところでは。

この事業も今は業者さんに委託する形で実施してるんですけども、ボランティアさんだったりとか、先ほども退職した学校の先生の力を得られたらいいなとかいうアンケートの話もありましたけれども、そういった形で、また違う形の事業の定着の仕方が模索できたかなということも考えておりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いできたらというふうに思います。

それから、こちらとはまた少し話が変わってきますけれども、前回の部会で、子ども食堂など子どもの居場所づくりの実施団体が、いろいろネットワーク化できたらいいよねというご意見がありました。今どんな状況かなという話になります。前回、江川議長のほうでちょっと集めてみるわみたいなお話もありまして、今やっていたかと思うんですけども、区役所としても広報誌等による活動紹介とか、いろんな公共の、公の情報などを提供することができるかなと思っております。

ただ、お話を聞いてますと、先ほど子どもの居場所のワークショップでは、誰でも行ける参加しやすいイメージづくりが必要であるというお話もいただいていたんですけども、逆に、あまりたくさん来てもらってもなとか、あるいは今いっぱいやからなとかというご意見もありますので、このあたり今後私どもと実施団体さんの間でうまく連携が取れていったらなという状況になっているところです。

一応、私たち役所側の理想としては、ホームページに載せて、みんなが自由にアクセスできるといいなというのがあるんですけども、なかなか実際の運営団体さんの関係でいうとちょっと難しい部分があるかなというところで、子どもの居場所ネットワーク化については、江川さんから状況を一言、補足いただけたらと思います。よろしく願いいたします。

【江川議長】

この前の会議のときにこの話が出て、全部の団体に連絡を取らせてもらって、一応LINEグループみたいな形でつながりはつくって、連携を取っていこうという話をしています。あと、(活動の場所が)7箇所なので無い地区もあったんですけど、今回のワークショップで高倉と淀川ですか、2地区でこの活動を始めたい人がいたので、その人達もまた入ってもらってやっていこうとは思っています。

ただ、状況としては、月に1回実施のところが多いので、結局のところそれで何が変わるかというところもあります。始めようとするときは、何か勉強を見たいとか、食育したいとか、食事与えたいとか、いろんなことをみんな考えるんですけど、結局全部やろうと思ったら何もできなくて、自分達でできることだけやっていってから、やりたいことを他の団体でやってるところがあったら、その団体にこっちはこういう活動をやってるでということがまず伝えられて、団体同士がつながっていけるんだったら、その数が増えたら点か面になっていくと思うので、このネットワークの件はそういう形でやっていこうとは思っています。それぐらいです。まだ何も動いては 아닙니다。

【清原課長】

ありがとうございます。

変な言い方ですけど、あまり役所が入ってしまうと、例えばですけど、このネットワークの名前を売るために、区民まつりのときにブース出しませんかとかいう変なお願いの方向に行ってしまう場合もあつたりしますので、皆さんの自主性を尊重しながら、どうやってうまいこと関係をつくれたらいいのかなということ、しばらく模索状態かなと思いますので、江川議長含めまして、よろしくお願ひしたいと思ひます。

報告事項も含めて今日のお話としては終わりなんですけれども、この会の任期終わりということなので、来期に言い残すことがありましたら、皆さんのご意見を次回に託していくような形でちょっと意見いただけたらと思うんですが、いかがでしょうか。

【江川議長】

これ、任期2年じゃなかったですか、もう1年あるんじゃないですか。もうないんですか。

【清原課長】

令和4年度で1回終わりです。

【江川議長】

1回終わるけど、メンバーは一緒じゃないんですか。そうじゃなくて、替わるんですか。

【清原課長】

改選になるので、一応区切りは区切りかなというところで。

【江川議長】

分かりました。

【清原課長】

その後の話はおめんなさい、ちゃんと確認はしてないんですけども。

【江川議長】

そしたら、何か残していったら、多分区役所のほうからまた答えがもらえると思うので、何か中山委員から思いの丈を一言ずついただけたら。よろしくお願いします。

【中山委員】

ほうかご学習ひろばなんですけども、私はここ1年間、去年の5月から中野福社会館の管理をしてんですけども、子どもが4人から5人毎週来ていただいて、そこから先生たちに話を聞いてもらって前向きな気持ちなれたという話を聞きました。すごくいいことなので、これは継続していけばいいかなとは思っています。

以上です。

【江川議長】

ありがとうございます。

池田委員、お願いします。

【池田委員】

私はちょっと申し訳ないんですが、年齢が年齢ですので、こういった子どものことに関してあまり参加してなかったんです。今、子どもの居場所づくりの例えば今回の会議資料ももらってるんですけど、地域活動協議会のほうでは、友渕小学校いきいき事業運営委員会といって、小学校で場所を借りて、引退された先生方の中から募集して行っていますが、「いきいき」のほうはキズキとまた違う会社が運営してるんじゃないかと思うんです。いきいきはあくまで町会に入ってる方が対象で、ほうかご学習ひろばのほうは町会関係なしですね。だから、2つがお互いにやり合ってるということはないんですけども、どちらを本位に持ってやっていくかということは、こういう資料は皆さんにお配りはしてましたが、町会としてもまだ今のところ、具体的な説明というのはしてなかったように思うんです。だから、そういった整合性までつけていって、お互いに協力し合ってやっていくということも、これから考えていかなければいけないんじゃないかと思います。そういうことがちゃんとできていけば、子ども食堂のほうも各町会も高齢者の食事サービスと同じように一つ場所もあるんだから、お互いにやっていこうかということで方向に進んでいくんじゃないかと思うんですけども、まだそのところははっきりしていないので、説明で

きることはないんじゃないかなと思います。

以上です。

【江川議長】

ありがとうございます。

谷委員、お願いします。

【谷委員】

あまり残していくとよくないかと思うので、今の現状のこの報告のまま進めていっていただけたらいいかなと思います。子ども食堂のほうも連携してやっていくということをしてくださっているの、各団体ホームページとかあるんですか。

【江川議長】

大体あります。

【谷委員】

何かそういうのをちょっとのぞかせていただきながら、応援していきたいなと思ってます。

【江川議長】

ありがとうございます。

前田委員、お願いします。

【前田委員】

今まで、部会とか区政会議とか参加させていただいて、全然区政のこととか知らなかったの、私自身としてはこういった小学生のサポート事業であったり、子ども食堂のことであったり、知らないことがたくさんあったので、個人的にはすごく勉強になってとてもよかったです。たくさんの方が子どものことを考えて動いてらっしゃることがあって、これから私も何かできることがあればと思いました。全然何も知らないことが多かったの、お力になれることもなかったかと思うんですけども、今までありがとうございました。

【江川議長】

前田委員、ありがとうございます。

早く終わりますけど、せっかくこの教育・子育て部会の議長をやらせてもらったので、一つ提言というか、今で区政会議の委員をもう6年目ぐらいやらせてもらって、いつも思うことをちょっと言わせてもらいたいと思います。

いつもここで話して、結局何もつくれずに終わってしまって、今回も子どもの居場所と

いう大きい流れで、結局ふわっとして全部が形にできなかったのも、何かここで生まれたという形のもが毎年つくれたら、前からあの会議で言ったことがこういうふうを実現したみたいなことができたらなと思ってたので、また、そういうことができるような形でやっていけたらいいなと思います。一応ここで言って何かお願いしても、多分予算の関係とかで全部ができるとは思わないんですけど、こういう意見が区民の声で上がってきたということで、子どもに対してこう思っている人がいて、こういうことができたというものを、これからもしも来年もずっと続いていくならそういう成果を残していきたいなど。そういうふうな形で事務局のほうにも何か今回のこの1年でこういうことが決まったみたいな成果になったらいいなと思いました。

【清原課長】

ありがとうございます。区政会議ですので、区政に関して何かを実現するようなものをつくっていかねばいけなというのはおっしゃるとおりで、子どもの居場所、何かテーマを持ってやる前は、普通にいろんな予算の説明であるとかやっていたんですけども、ここ何年かこのテーマを持って議論させていただいてきました。

子どもの居場所づくりにつきましては、先に、皆さんというか地域の方々がいるいろいろなやっってる部分があって、それをベースにする形で役所が後押しできたという形で、今回ワークショップの実施であるとか、皆さんの意見交換等やらせていただいております。

先ほど、小学生サポート事業に関するお褒めもいただいたんですけども、皆さんのご意見も賜りながら形あるものをきっちり、皆さんのご意見をきっちり残せる形で努力してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それから、これまであまり関心がなかったみたいなお話もありましたけれども、これから区だけではなくて、大阪市全体として予算を議論する時期に入っております。大阪市は、割と教育関係、子ども関係は頑張って教育委員会とか子ども青少年局とかが予算を取っておりますので、そういったところも併せて注目していただけたらと思います。引き続き都島区政、それから大阪市政のご支援と申しましょうか、興味を持ち続けていただいて、よろしく願いできたらと思います。

では、すみません、今日は大変短い時間だったんですけども、いただいた意見を今後の区政に生かしてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

事務局から、議題外で一つあるんですけどもよろしいでしょうか。

前回10月11日の区政会議全体会議で、委員の皆様アンケートをお願いしておりました

けれども、まだ提出していただいていない委員の方がいらっしゃるようです。無記名で提出になっておりまして、どなたが未提出か分かりませんので、少しご確認をいただけたらと思います。もう出していらっしゃるのか、それともまだなのか。回答済みの方は、その旨おっしゃっていただければと思います。未回答の方につきましては、本日お書きいただくか、今週中にメールでご回答いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。

そうしましたら、事務局からほかによろしいですかね。

本日は、議長をはじめ各委員の皆様におかれましては、お時間を取っていただきましてありがとうございました。

最後に、区長の大畑から一言ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【大畑区長】

今日は大変短い時間で、議論がちょっと深められなくて大変申し訳なく思っております。

最終の着地点としては、やはり僕のイメージは、この参考資料のイメージ図なんですけど、子どもの居場所ネットワーク化ということで、区役所が情報交換ということで、情報交換・連携の中に今、江川さんが中心に入っているんです。各個別の子ども食堂、それぞれご事情はあるんですが、例えば電話番号とか開催日時とか、そういう内容が公開できるようになっていって、その数が増えていったものができていったらいいなというふうに思うんです。

なぜかという、大阪市のアンケートで、大体3割から4割の子は子ども食堂があるというのは知ってるんです。でも、実際に子ども食堂に行ったことがある子というのは、大阪市の子どもたちの中で3%程度なんです。ですから、あったら行ってみたいと思っている子が3分の1ぐらいいるのに、実際行っている子は本当に100人に3人か4人しかいないという現状は、とてももったいないというか、残念な気がします。

ただ、それぞれの運営主体の皆さんにとっては、これ以上来てもらおうと大変だからというご事情もあるからこそ、もうちょっと増やしていかないといけないのかなと思います。増やしていって、たくさん日程を設定して、もっともっとたくさんの子が子ども食堂を利用することによって、居場所づくりがたくさん広がっていく。そのことによって、いろいろな教育の課題というんですか、不登校だったり、いじめだったり、虐待だったり、そういうものの解決に少しでもこの子どもの居場所が繋がっていければいいなというのがイメ

ージになります。今日の会議はここで終わってしまうんですけども、この子どもの居場所ネットワーク化というのは江川さんにお願いしますが、江川さんを中心にどんどんこの輪を大きくしていってもらえたらいいなというふうに私自身思ってます。そのためのこの間のワークショップだというふうに私も理解してますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

今日は議題1つで短時間ということで、ご多用の中、足を運んでいただきまして本当にありがとうございます。

私から以上です。ありがとうございました。

【吉田課長代理】

本日は、議長はじめ各委員の皆様方におかれましては、誠にありがとうございました。

これをもちまして、令和4年度第2回教育・子育て部会を終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。